

学校名	只見町立朝日小学校
授業者	加藤 英子

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

題材名	「いきものと なかよし」	小単元	むしと なかよく なるう
------------	--------------	-----	--------------

1-2. 学年

1年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活科

1-4. 単元の概要

<p>本単元は、小学校学習指導要領解説生活編（7）「動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする」を受け、児童一人一人が身の回りの生き物と触れ合う活動を中心に設定したものである。また、体験や経験を学びに生かすことのできるため、児童がお互いに自分の気付きを伝え、学びを深めていくのに適した教材である。</p> <p>本単元では、虫の体のつくりや餌などの特徴、虫も生命をもっていることに気付き、生き物を大切にする態度を養うことをねらいとしている。</p>
--

1-5. 単元設定の理由・ねらい

<p>単元のねらい</p> <p>身近な生き物を探したり飼ったりすることを通して、それらの生息環境や、変化や成長、生き物は生命をもっていることなどに気付くことができるようにする。また、生き物の立場ですみかや世話の仕方などを考え、生き物への親しみをもち、適切な世話をし、大切にすることができるようにする。</p> <p>小単元目標</p> <p>捕まえた虫を観察したり、餌やすみかか用意したりして、虫の様子や生息環境に気付くとともに、それらを大切に飼うことができるようにする。</p> <p>単元設定の理由</p> <p>(1) 児童観</p> <p>本校は、校庭や中庭に樹木や草花が豊富に生えており、そこに住む生き物とふれあう機会が多くもてる。「なつだあそぼう」の学習では、ゲストティーチャーを呼んで草花遊びを教えてもらったり、校庭でトンボやバッタ、チョウなどを捕まえたりして、楽しく学習する姿が見られた。また、休み時間には、網と虫かごを持って校庭へ行き、トンボやカマキリを捕まえ、家に持って帰り、次の日また学校へ持ってくる児童もおり、虫に興味を示す児童は多い。</p>
--

しかし、虫を触りたいが触れない、虫を触りたがらない、触りすぎて生き物を死なせてしまった、世話をしないために虫が死んでも、あまり気にとめないなどの姿も見られる。

また、伝える活動においては、ほとんどの児童が自分の思いを表現できるが、他者の話を自分事として捉える力はまだ十分に育っていない。

(2) 指導観

本単元では、単元を通して虫マスターになることを目標に授業を行っていきたい。そのために、まず初めての夏休みに見つけた生き物について、その場所や思い出を紹介し合い、生き物への興味や関心を高めていくようにする。次に、虫マスターになるために、繰り返し対象と関わることを大切に、同じ場所に繰り返し行ったり、虫と繰り返し関わったりする活動を通して、虫を育てたいという意欲を高めるとともに、その虫を大切にしようとする心情も育んでいきたい。心情を育むために、自分で生き物の世話を継続して行った経験の少ない子ども達のために、虫についての図書コーナーを設置したり、上級生や虫に詳しい先生からも情報が得られたりするような支援を行っていく。また、朝のチャレンジタイムに「〇〇タイム」を設定し、毎日活動することで、自分なりの発見ができるようにしたい。

本時では、自分が飼っている虫にとって暮らしやすい環境をつくるために、調べたことを生かしたり、友だちのすみかのよさを取り入れたりして、生き物が暮らしやすいすみかづくりができるようにする。また、一人一人にすみかづくりを行わせる。そのようにすることで、実物をもとにした互いの話合いができるようにしたり、工夫した点を明確にしたりして自分の思いを伝えられるようにしていきたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

コミュニケーションを行う力

ア 生き物に関心をもち、身の回りで見つけた生き物の様子を進んで話したり、聞いたりして、生き物との触れ合いを楽しもうとしている。

ウ 見つけた虫やその生息環境をカードに書いたり、友だちに伝えたりしている。

カ 調べたことやすみかについて伝えている。

キ 虫も自分と同じように成長や変化をし、生命をもっていることに気付いている。

進んで参加する態度

ア 生き物に関心をもち、身の回りで見つけた生き物の様子を進んで話したり、聞いたりして、生き物との触れ合いを楽しもうとしている。

イ 学校周辺にどんな虫がいるか、進んで探している。

ウ 見つけた虫やその生息環境をカードに書いたり、友だちに伝えたりしている。

エ 虫の飼育の仕方を調べている。

オ 生息場所、食べ物の観点から虫が暮らしやすいすみかを作っている。




ク 飼育をして気付いたことを絵や文、クイズなどで、表現している。

他者と協力する態度

イ 学校周辺にどんな虫がいるか、進んで探している。

ク 飼育をして気付いたことを絵や文、クイズなどで、表現している。

1-7. 単元の展開（全9時間）

次	時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
むしをさがしにいこう	朝の会	夏休みに身の回りで見つけた生き物について紹介し合う。	ア 生き物に関心をもち、身の回りで見つけた生き物の様子を進んで話したり、聞いたりして、生き物との触れ合いを楽しもうとしている。
	1・2	学校周辺で虫を探しに出かける。 	イ 学校周辺にどんな虫がいるか、進んで探している。 
	3	虫マップをつくる。 	ウ 見つけた虫やその生息環境をカードに書いたり、友だちに伝えたりしている。
むしとなかよくなるろう	4・5	育てたい虫を決め、その名前や飼育方法を調べる。 育てたい生き物の生息場所を観察する。	エ 虫の飼育の仕方を調べている。
	6	虫が暮らしやすいすみか作りをする。 	オ 生息場所、食べ物の観点から虫が暮らしやすいすみかを作っている。 カ 調べたことやすみかについて伝えている。
	常時		キ 虫も自分と同じように成長や変化をし、生命をもっていることに気付いている。
むしとなかよしいはっぴょうかい	7・8	「虫マスター発表会」で、虫の様子や育て方を友だちと紹介し合う。	ク 飼育をして気付いたことを絵や文、クイズなどで、表現している。

	9	学習のまとめをする。 虫をもといた場所に返す。	ケ 上手に世話ができるようになった自分や 友だちのよさに気付いている。 (気付き)
--	---	----------------------------	--

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ



単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

自分がつくったすみかへの思いを伝え合うことで、生き物が暮らしやすいすみかをつくることとができる。
(思考・表現) 〈コミュニケーションを行う力〉

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇〇がすみやすいおうちをつくろう。</p> </div> <p>・コオロギ ・トノサマバッタ</p> <p>2 前時に調べたことをもとにして、すみかを作る。</p>  <p>3 作ったすみかについて紹介し合う。</p>  <p>4 友だちの発表をもとに、より生き物が暮らしやすいすみかをつくる。</p>	<p>○ 虫マスターになるために、本時は虫のおうちを作ることができるようにすることを確認する。</p> <p>○ 前時に作成したシートをもとに必要な物を確認し、活動の見通しを持たせる。</p> <p>○ 前時に書いたメモを見て、すみか、えさ、材料などについて確認できるようにする。</p> <p>※ みんなで使える材料コーナーを作り、必要なものを自由に使えるようにしておく。 (進んで参加する態度)</p> <p>○ 事前に教師がいずれかの虫を飼育しておき、教科書や本に載っている具体的なモデルとして提示しておく。</p> <p>○ 教師が聞き返したり、言葉を補ったりしながら、児童が自分の思いを言葉に表せるようにする。</p> <p>※ 実物をもとにした互いの話合いができるようにしたり、工夫した点を明確にしたりすることで、自分の思いを伝えられるようにする。</p> <p>※ 長生きできる環境に気付けるようにコーディネートする。</p> <p>◇ 見合う活動を通して友だちのよさや違いに気付けるようにする。 (コミュニケーションを行う力)</p> <p>○ 友だちとの伝え合いの中で、新たな気づきがあったら、直したり加えたりさせる。その際、なぜそのようにしたのか問いかけるようにする。</p> <p>◇ 調べたり聞いたりしたことや友だちのアドバイスを取り入れて生息場所、食べ物の観点から生き物が暮らしやすいすみかを作っている。 (観察・行動・発表)</p>

<p>5 作ったすみかに生き物を入れ，観察し，課題のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〇〇がすみやすいおうちは、 ・食べ物が入っているお家です。 ・虫がいた場所に似ているお家です。</p> </div> <p>6 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○ どんなすみかをつくったのか発表させることで本時の学習を振り返る。</p>
---	---

3. 今回の活動の自己評価

成果

- 学校周辺で虫を探した授業では，校庭だけでなくビオトープへ行って生き物を探したことで，身近な所に多くの生き物がいるということに気付くことができた。また，地域の方に協力してもらったことで，タイムリーに質問や感想を伝える場を設定することができた。
- 虫が暮らしやすいすみか作りをする授業では，材料コーナーを準備したことで，児童が進んで考え参加することができた。
- 虫の世話は，教師の声かけがなくても，児童が進んで取り組む姿があった。
- 学習の最後には，教師から飼育している虫たちを今後どうするか問いかけたところ，自分本位の考えではなく，虫の立場を考えた意見が出てきた。心の成長を感じた。

4. 今後の課題

- 虫を捕まえてきて，数日で死んでしまい再度昆虫採集をして授業に臨んだ。研究授業で生き物を扱う単元を行うのは難しい。
- 子ども達の考えや思いを引き出すコーディネートについて，更に研修を積み重ねていく必要がある。
- 児童の思いを大切にしながら授業を行っていくことと，単元構想に従って授業を行うことのバランスが難しい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- 児童が，生きものに関わり親しめる時間を十分に確保した。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。